



キラキラ☆中部っ子

《学校教育目標》

自ら気付き 人との関わりの中
で自分らしさを発揮しながら課
題解決に向かう 児童の育成

令和4年10月3日 文責 校長 山口英俊

～有田中部小学校の合言葉～ やさしく(徳) かしこく(知) たくましく(体)

折り返し地点！！

10月に入り、今年度の折り返し地点になりました。
アツという間に6カ月が過ぎ、大変早いものだとしみじみ思うところです。

先生方や子どもたちには、明日の全校朝会で、「半年が過ぎ、残り半分になったので、現在の学年の取り組みを再度きちんと見直し、残り半年を充実したものにできるよう頑張ってもらいたい」という話をしたいと考えています。

御家庭でも今年度の前半を振り返り、残り後半をさらに積極的に取り組むことができるようお話していただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



有田中部小HP



「わたしのあゆみ」を配布します。

10月7日(金)に全校児童へ「わたしのあゆみ」を配布します。
保護者の皆様におかれましては、十分ご理解いただいていることと思いますが、この「わたしのあゆみ」は、児童一人一人の学力の向上と豊かな成長を願って、学校における学習面や生活面等の様子をお伝えするものです。

詳細につきましては、先日の授業参観(ふれあい道徳)後の懇談会で、各担任から配布されたプリント及び当日の説明のとおりです。このプリントを再度確認しながら、学習面及び生活面の各項目のポイントについて、子どもたちと一緒に「わたしのあゆみ」をご覧ください。今年度前期の学校での様子や昨年からの成長の様子等を見ていただければと思います。

伸びが見られたところや各項目で力をつけている点等について、子どものがんばりを褒め、「やる気」を引き出す声かけをしていただければ幸いです。

また、所見につきましてもご覧いただき、お子様の今年度前期の成長点や今後の指導助言のあり方等についてを確認していただければと思います。よろしくお願いいたします。



～学校での取組 “はきものをそろえよう！”～

今年度も全校みんなががんばることの取組の一つとして、“はきものをそろえよう！”と呼びかけています。一人一人がげた箱へ入れる靴や上靴はそろえることができているのです。

が、トイレのスリッパならべがなかなかできない児童がいます。御家庭での靴ならべやトイレのスリッパならべはいかがでしょうか。今後も継続した指導をしてきますので、各家庭でも「気持ちの良い靴のならべ方」について、御指導をよろしくお願いいたします。

健康の貯蓄(積立)「歩くこと」を続けよう!

このコロナ禍になる前までは、多くの方々(特に年配の方々)がマスクを外してジョギングやウォーキングをされている姿をよく目にしました。

ここ最近、コロナウイルス感染数の減少と共に、マスクをつけての散歩やウォーキングをされる方々も増えているところです。



健康の秘訣。それは、やはり何と言っても「歩くこと」ですね。年齢を重ねれば重ねるほど、足腰が弱くなり、膝の痛みが続き歩けなくなることもあるようです。

そうならないためにも多くの方が、日頃歩くことで健康を維持、持続しているのです。いわゆる「健康の貯蓄(積立)」をしているわけです。



人は年代別の平均において、一日8000歩歩くと言われます。これは、様々なデータから調査されたもののようです。この8000歩にプラス2000歩(約20~30分間の歩き)を加えるとちょうど1万歩。「万歩計」という名前もこの辺りからきたとか・・・



では、子どもたちはどうでしょう。通学距離によつての差はありますが、ほとんどの子どもたちが毎日、元気に歩いて登校しています。登下校時に歩いている子どもたちは、体育や昼休みの運動等を加えると、8000歩~15000歩ぐらひはいつも歩いていることでしょう。この子どもたちは「健康の貯蓄(積立)」が十分でき、大人になって貯蓄を切り崩しても、何ら大きな問題はないのだらうと思います。

しかし現在、家族に「送って」とか「迎えにきて」と無理を言って、「健康の貯蓄(積立)」をしていない子どもたちは、今現在は何ら影響がなくても、今後大人に近づくにつれ、また、大人になってから、さらに年齢を積み上げてから・・・等々、体調等に影響が出てくることもあるかもしれません。

よく考えてみると、「歩く」行為は、小学生時代が一番多く、中学、高校、大学、社会人になればなるほど歩かなくなります。(自動車をほとんど活用しない都市や地域では違いますが・・・)「健康の貯蓄(積立)」が年々減っていき、ついには3000歩歩くか歩かないぐらいになり、健康への意識が出始める中年時代になり、体づくりのための「歩くこと」を意識するようになります。

そこで、保護者の皆様にはお願いです。子どもたちの将来を考えていくのであれば、今の登下校の「歩き」は、とても大切です。車での送迎は簡単であるし、雨の日であればなおさら濡れなくて済むので子どもたちは喜びます。しかしながら、「健康の貯蓄(積立)」の大切さを考えるのであれば、「歩いて登下校する」姿勢を今のうちに身につけさせることも必要だと思ひます。

「健康の貯蓄(積立)」について、是非、御家庭でも子どもたちと話をさせていただき、運動に最適なこの時期から「歩くこと」を継続してほしいと思ひます。

どうぞよろしくお願いいたします。